

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとねりこクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に対して環境・体制を整えている点	こまめな清掃、休憩する場所や活動する場所を分ける等の構造化を行っている。活動に参加している様子の写真の掲示をし、楽しかった活動のふりかえりや、活動に参加する意欲を持ってもらえるような楽しい掲示物を貼りだす。	視覚的な情報として、掲示物が多くなりすぎないように、注意していく。
2	適切な支援の提供	事前事後に入念なミーティングを行い、その日に行う活動内容について、共通理解を行った上で支援を提供している。場合によっては個別で対応するスタッフを決めるなど、その日の参加者の応じた対応を行っている	ミーティングの振り返りでは、改善点について具体的に意見を出し合うようにする。ふりかえりは記録に残し、今後の参考にできるようにしておく。次回の活動に生かしていく。
3	保護者への説明	家族支援プログラムを行っており、その日の活動での出来事や様子について説明している。これに加え、保護者自身がどう感じているかについても言語化する機会を設けている。個別面談も実施し、より個人的な相談もできるような機会を作っている。心理師も常駐しているので、発達のな問題の相談にも対応している	利用曜日の固定化により、参加する保護者同士も固定化されている。これに加え、別曜日の保護者の知見を共有するため、別途家族支援プログラムを計画し、実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携	担当者会議に参加しているが、自立支援協議会等へはスケジュールが合わずに参加できていない。利用者さんが通う学校との連携が取れにくい。	スケジュール調整の実施や、別途連携の機会を設ける。相談支援事務所の相談員さんが仲介に入ってくれ、学校側とケース会議をすることもできている。
2	非常時等の対応	マニュアルの共有や避難訓練を実施しているが、事前に予告をして行っている。普段の活動の中に避難訓練を実施し、学校とは違う放課後デイでの避難の仕方を練習している。	事前予告なしによる避難訓練を取り入れていく。火災・地震などいろんな災害での避難訓練を実施していく。防災センターなどを利用し、よりリアルな避難訓練を体験できるようにする。
3	柔軟な業務改善体制	業務の改善について、スタッフ間で話し合いの場を設けているが、その後の実施について検証が行われていない。	改善案について、その後の実施の検証を行っていく。